

心血管疾患は透析患者の生命予後を左右する最も重要な合併症であり、2023年の統計では心不全と心筋梗塞による死亡が合わせて23.6%と、感染症による死亡率(22.7%)を上回り、最大の死因となっています。この領域の進歩は著しく、透析医療に携わる医療者は常に最新の知見を取り入れる姿勢が求められています。

本特集では「透析患者の心臓病」をテーマに、各領域の専門家に最新の診療動向をご執筆いただきました。診断面では、従来の心エコーや心筋シンチグラフィに加え、FFR-CTや心臓MRIなどの先進的画像技術により、透析患者特有の高度石灰化やびまん性病変、無症候性虚血の評価が進んでいます。

治療においても「ISCHEMIA試験」以降、薬物療法と血行再建の適応が見直され、PCI

とCABGの選択における透析患者特有の課題についても詳細に論じられています。また、TAVIやTEERといった低侵襲治療が高齢・ハイリスク透析患者にも適応されるようになりつつあります。さらに、心不全や不整脈への対応、心臓リハビリ、看護、周術期管理など、多面的アプローチの重要性も示されました。

本特集が、透析患者における循環器管理の標準化と心血管予後のさらなる改善に貢献し、透析に携わる医療者の日常診療の一助となることを願ってやみません。

最後に、ご多忙のなか、本特集のご執筆を快くお引き受けくださった先生方に、心より感謝申し上げます。

(鶴屋和彦)

## 2025年(Vol. 41)特集のご案内

- |                                   |                                 |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| No.① 透析患者の糖尿病治療—2025              | No.⑦ 透析患者の心臓病のすべて—インターベンションを中心に |
| No.② 透析患者の皮膚を守る カラーでみる            | No. 8 外来透析患者の定期検査+結果の評価と対応〔増刊号〕 |
| No.③ 透析患者の骨粗鬆症と骨折を理解する            | No. 9 透析患者のカリウム管理               |
| No.④ 長期透析の現況・課題と対策                | No.10 最新動向、透析患者の呼吸器感染症          |
| No.⑤ 多職種連携による在宅透析医療—コメディカルの役割     | (既刊は○)                          |
| No.⑥ 透析患者の泌尿器科疾患に対応する—泌尿器科専門医との連携 |                                 |

## 臨床透析® Vol.41 No.7

© 2025年7月10日発行

定価：2,860円  
(本体 2,600円 + 税 10%)

- ・2025年 年間購読料(増刊号含む13冊, 税込)  
冊子版 39,050円  
電子版(個人のみ) 39,050円  
冊子版+電子版(個人のみ) 44,550円  
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL https://www.nmckk.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2025. Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541